

ワインのおいしい未来をつくる。



ワイン参考資料

1. ワイン消費数量推移 (1972年～2015年)1～2
1-1. 消費数量推移	
1-2. 消費数量	
2. ワイン課税数量 (出荷数量) 推移 (2006年～2016年)3
3. ワインの輸入数量推移 (2006年～2016年)4～5
3-1. 国別輸入数量推移	
3-2. 国別輸入数量一覧	
4. スパークリングワインの輸入数量推移 (2006年～2016年)6～7
4-1. 国別輸入数量推移	
4-2. 国別輸入数量一覧	
5. 主要ワイン消費国の人口一人当たりワイン消費量 (2015年)8
6. 全酒類の消費数量10年前との比較 (2005年と2015年)9
7. 日本ワインの概況 (2015年)10

(この資料に関する問い合わせ先)

キリン株式会社
コーポレートコミュニケーション部
TEL 03(6837)7028

2017年 6月



ワイン消費数量推移（1972年～2015年）①

1-1. 消費数量推移

●ワイン消費数量は過去最高4年連続更新。“ワインブーム”から定着へ

1994年にメルシャンが技術とノウハウを結集して開発した、国内製造ワインで初のフルボトル500円ワイン「ボン・マルシェ」発売が、家庭用市場開拓のさきがけとなりました。また、1996年に「新世界のワイン」シリーズと銘打って発売した、チリ、アルゼンチン、オーストラリアなど南半球産のワインは、1000円前後のリーズナブルな価格と親しみやすい味で、業務用・家庭用市場に浸透しました。

時を同じくして、日本、フランス、アメリカでは主に赤ワインに含まれる成分“ポリフェノール”が健康維持に役立つことが注目され、1997年後半から赤ワインブームが起こり、日本のワイン市場は1998年に爆発的な拡大を見せました。

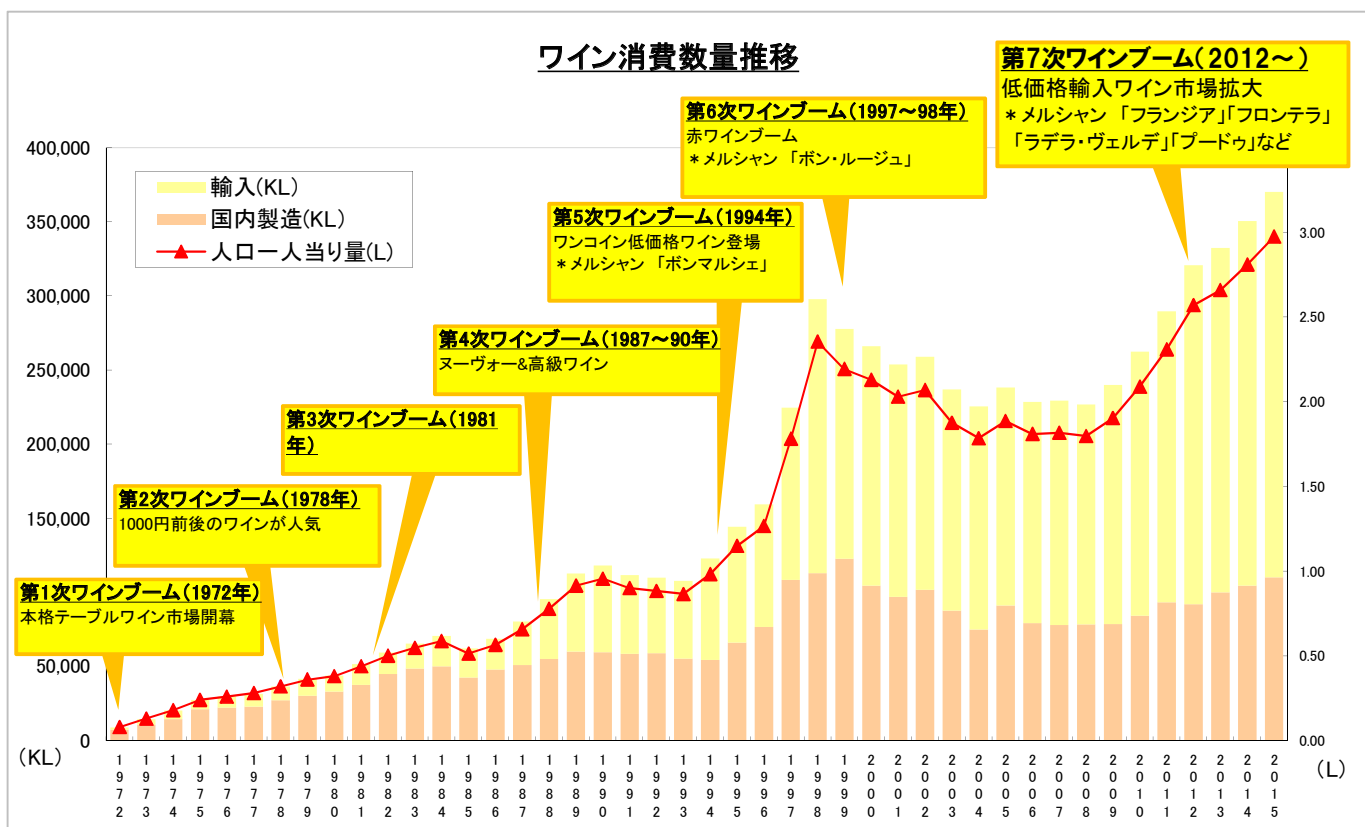
2000年以降ワインは、食事をしながら楽しむ食中酒として、記念日など特別な日だけでなく、さまざまな業態の飲食店などでも楽しめるようになった他、スーパーやコンビニエンスストアでも気軽に購入できるようになり、日常飲まれるお酒として定着しつつあります。

最新のデータとなる2015年は、1998年頃に最大となったワインブームを超え過去最高の消費数量を4年連続で更新しました。前年と比較した伸長率は+5.6%で2009年以降拡大を続けており、7年間で消費数量は1.5倍となりました。輸入ワインではチリを中心とした新世界ワインが消費を牽引、国内製造ワインでは日本産ブドウ100%で造る「日本ワイン」への人気が高まりました。

●ワイン市場拡大の長期トレンド

日本のワイン市場は、1964年の東京オリンピックから1970年の大阪万国博覧会の時期を黎明期とし、この50年間、日本経済の進展とともに生活様式の変化、特に食生活の多様化と向上に歩調を合わせ、何度かのワインブームを経験し急速に拡大してきました。

さまざまな食べ物と相性がよく、豊富な種類や価格面での選びやすさ、バラエティに富んだ生産国・産地の選択の楽しさ、食生活を豊かに演出したいというお客様のニーズと健康志向が合致し、今日のワイン消費につながっています。



- (注) 1. 国税庁発表資料による
2. 国内製造・輸入別構成比は課税数量を元にしたメルシャン推定
3. 年度は会計年度(2015年4月～2016年3月)
4. 人口一人当りは住民基本台帳により算出(沖縄県分は含まない)

ワイン消費数量推移（1972年～2015年）②

1-2. 消費数量（1972年～2015年）

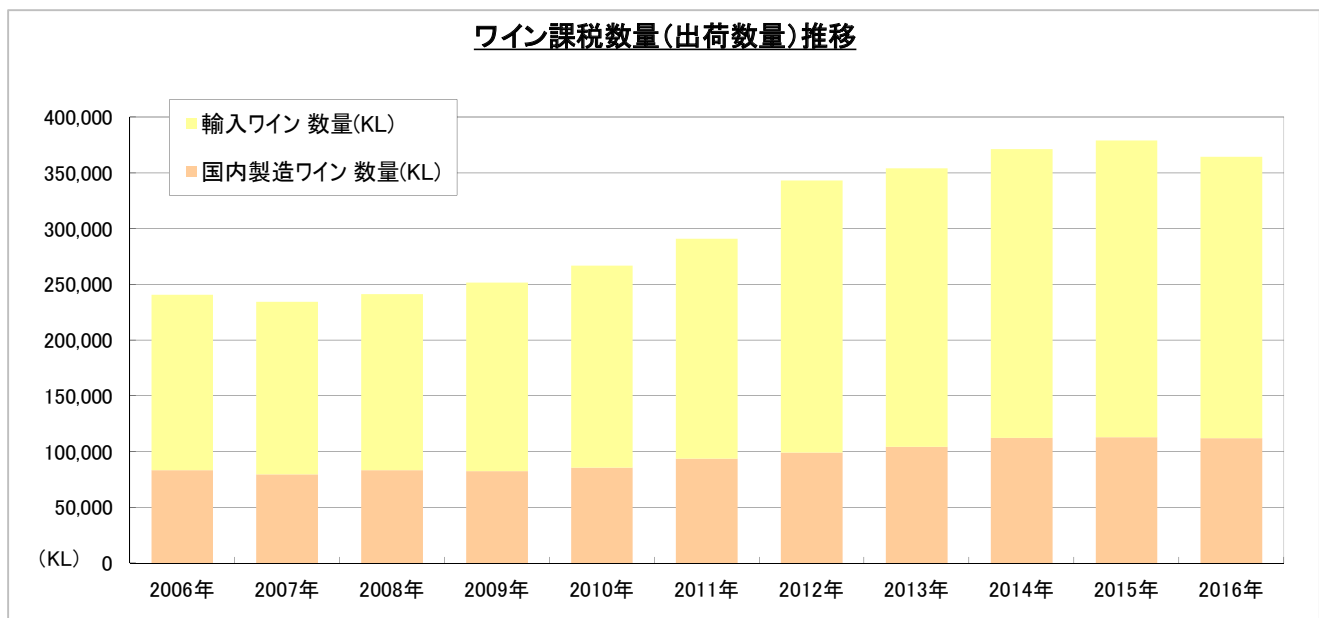
年度	消費数量(kl)			前年比	構成比		人口一人 当り量(L)	全酒類消 費量に占 める割合 (%)
	国内製造	輸入	合計		国内製造	輸入		
1972年	7,404	1,582	8,986	136.3%	82.4%	17.6%	0.08	0.16
1973年	10,501	4,044	14,545	161.9%	72.2%	27.8%	0.13	0.25
1974年	14,583	5,727	20,310	139.6%	71.8%	28.2%	0.18	0.34
1975年	21,282	6,143	27,425	135.0%	77.6%	22.4%	0.24	0.47
1976年	22,376	7,459	29,834	108.8%	75.0%	25.0%	0.26	0.47
1977年	22,892	8,596	31,488	105.5%	72.7%	27.3%	0.28	0.48
1978年	27,165	9,445	36,610	116.3%	74.2%	25.8%	0.32	0.54
1979年	30,157	11,612	41,769	114.1%	72.2%	27.8%	0.36	0.63
1980年	33,062	10,903	43,965	105.3%	75.2%	24.8%	0.38	0.66
1981年	37,558	14,104	51,662	117.5%	72.7%	27.3%	0.44	0.76
1982年	45,037	14,457	59,494	115.2%	75.7%	24.3%	0.50	0.85
1983年	48,657	16,830	65,487	110.1%	74.3%	25.7%	0.55	0.91
1984年	50,104	20,564	70,668	107.9%	70.9%	29.1%	0.59	1.00
1985年	42,505	19,637	62,142	87.9%	68.4%	31.6%	0.51	0.86
1986年	48,007	20,771	68,778	110.7%	69.8%	30.2%	0.57	0.92
1987年	51,081	29,362	80,443	117.0%	63.5%	36.5%	0.66	1.03
1988年	55,124	40,412	95,536	118.8%	57.7%	42.3%	0.78	1.16
1989年	59,997	52,780	112,777	118.0%	53.2%	46.8%	0.91	1.32
1990年	59,566	58,620	118,186	104.8%	50.4%	49.6%	0.96	1.30
1991年	58,636	53,051	111,687	94.5%	52.5%	47.5%	0.90	1.20
1992年	58,937	51,021	109,958	98.5%	53.6%	46.4%	0.88	1.20
1993年	55,250	52,661	107,911	98.1%	51.2%	48.8%	0.86	1.10
1994年	54,446	68,458	122,904	113.9%	44.3%	55.7%	0.98	1.27
1995年	66,087	78,207	144,294	117.4%	45.8%	54.2%	1.15	1.50
1996年	76,682	82,740	159,422	110.5%	48.1%	51.9%	1.27	1.65
1997年	108,566	116,208	224,774	141.0%	48.3%	51.7%	1.78	2.39
1998年	112,898	184,985	297,883	132.5%	37.9%	62.1%	2.36	3.15
1999年	122,798	155,026	277,824	93.3%	44.2%	55.8%	2.19	2.91
2000年	104,565	161,503	266,068	95.8%	39.3%	60.7%	2.13	2.80
2001年	96,512	156,136	252,648	95.0%	38.2%	61.8%	2.03	2.65
2002年	101,799	157,232	259,031	102.5%	39.3%	60.7%	2.07	2.70
2003年	87,669	149,273	236,942	91.5%	37.0%	63.0%	1.88	2.60
2004年	74,880	150,663	225,543	95.2%	33.2%	66.8%	1.79	2.50
2005年	91,233	146,974	238,207	105.6%	38.3%	61.7%	1.89	2.64
2006年	79,340	149,305	228,645	96.0%	34.7%	65.3%	1.81	2.58
2007年	78,039	151,488	229,527	100.4%	34.0%	66.0%	1.82	2.60
2008年	78,500	148,379	226,879	98.8%	34.6%	65.4%	1.80	2.70
2009年	78,758	161,358	240,116	105.8%	32.8%	67.2%	1.90	2.70
2010年	84,254	178,221	262,475	109.3%	32.1%	67.9%	2.09	3.08
2011年	93,273	196,396	289,669	110.4%	32.2%	67.8%	2.31	3.41
2012年	92,065	228,720	320,785	110.7%	28.9%	71.1%	2.57	3.76
2013年	98,057	234,341	332,398	103.6%	29.5%	70.5%	2.66	3.87
2014年	105,902	244,768	350,670	105.5%	30.2%	69.8%	2.81	4.20
2015年	110,360	259,977	370,337	105.6%	29.8%	70.2%	2.98	4.37

- (注) 1. 国税庁発表資料による
2. 国産・輸入別構成比は課税数量を元にしたメルシャン推定
3. 年度は会計年度(2015年4月～2016年3月)
4. 人口一人当りは住民基本台帳により算出(沖縄県分は含まない)

ワイン課税数量（出荷数量）推移（2006年～2016年）

2008年以降拡大を続けてきた課税数量は、2012年に第6次ワインブーム以来の30万KLを超えました。2016年はやや減少したものの、酒類の中では順調に数量は拡大しており中長期的な伸張傾向には引き続き力強いものがあります。10年前と比較しても伸長は顕著で、約5割の増率となっています。

年度	国内製造ワイン		輸入ワイン		合 計		構 成 比		換算数量(万ケース)	
	数量(KL)	前年比	数量(KL)	前年比	数量(KL)	前年比	国内製造	輸入	国内製造	輸入
2006年	83,474	90.0%	157,192	99.4%	240,666	95.9%	34.7%	65.3%	966	1,747
2007年	79,681	95.5%	154,835	98.5%	234,516	97.4%	34.0%	66.0%	922	1,720
2008年	83,432	104.7%	157,945	102.0%	241,377	102.9%	34.6%	65.4%	966	1,755
2009年	82,533	98.9%	169,186	107.1%	251,719	104.3%	32.8%	67.2%	955	1,880
2010年	85,731	103.9%	181,173	107.1%	266,904	106.0%	32.1%	67.9%	992	2,013
2011年	93,769	109.4%	197,143	108.8%	290,912	109.0%	32.2%	67.8%	1,085	2,190
2012年	99,279	105.9%	243,999	123.8%	343,278	118.0%	28.9%	71.1%	1,149	2,711
2013年	104,448	105.2%	249,879	102.4%	354,327	103.2%	29.5%	70.5%	1,209	2,776
2014年	112,261	107.5%	259,031	103.7%	371,292	104.8%	30.2%	69.8%	1,299	2,878
2015年	112,842	100.5%	266,354	102.8%	379,196	102.1%	29.8%	70.2%	1,306	2,959
2016年	112,112	99.4%	252,532	94.8%	364,644	96.2%	30.7%	69.3%	1,298	2,806
10年前比較	—	134.3%	—	160.7%	—	151.5%	—	—	—	—



- (注) 1. 国税庁発表資料による
 2. 年度は暦年(2016年1～12月)
 3. ケース数は、国産は720ml×12本入り、輸入は750ml×12本入りで換算

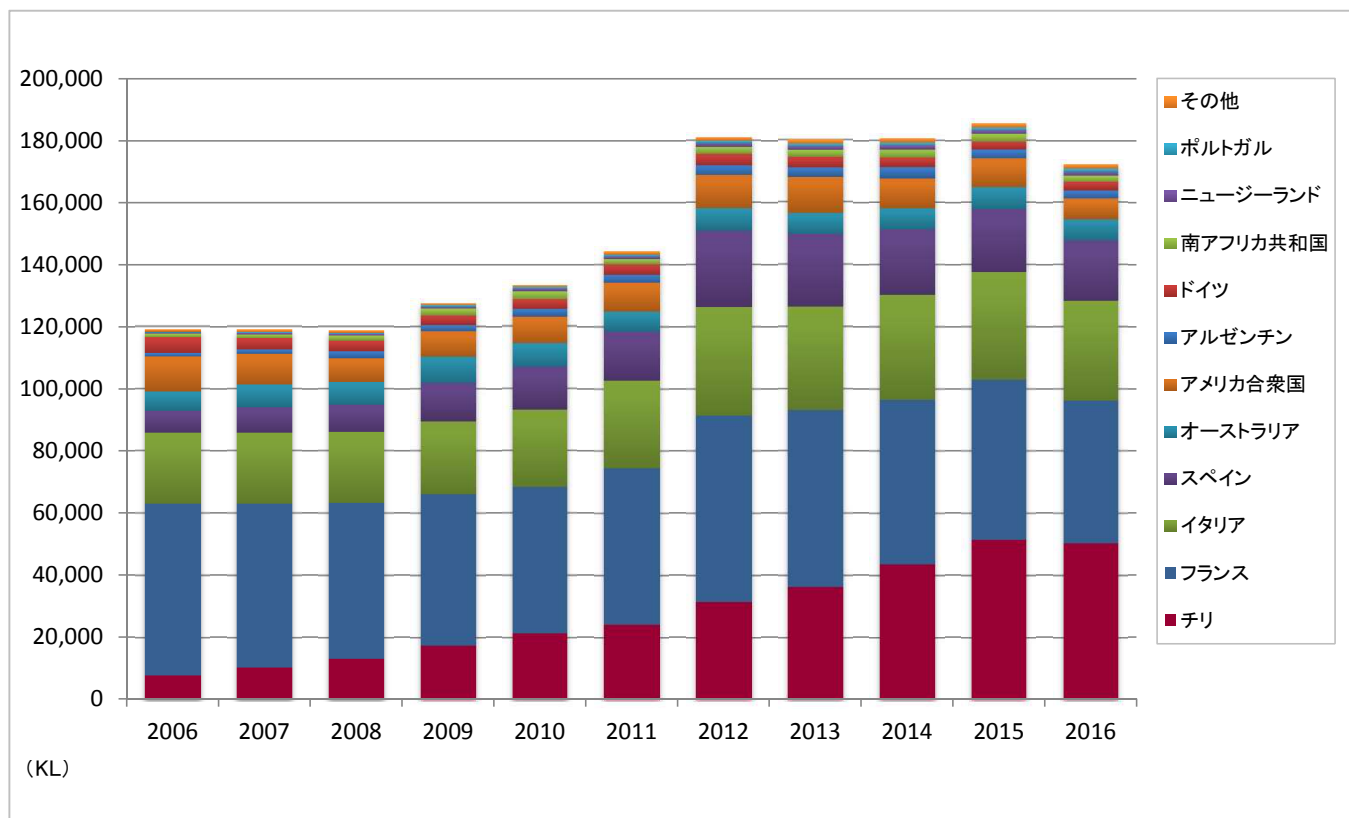
スティルワインの輸入数量推移 ①

3-1. 国別輸入数量推移(2006年～2016年)

2016年は、2年連続でチリワインの輸入量がフランスワインの輸入量を超え、国別輸入数量第一位となりました。

輸入ワイン全体に占める構成比も、チリワインが約28%と昨年から+4ポイントとなっており、今後も日本のワイン市場でチリワインが存在感を示すことが予想されます。

スティルワインの国別輸入数量推移



- (注) 1. 財務省関税局調べによる「ぶどう酒(2L未満)」の数量推移
 統計条件が異なるため、スパークリングワインの合計値と足し合わせた場合でも課税数量の合計とは差異が発生
 2. 年度は暦年(2016年1～12月)

スティルワインの輸入数量推移 ②

3-2. 国別輸入数量一覧 (2006年～2016年)

国名		2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
チリ	量kl	8,007	10,518	13,293	17,381	21,335	24,175	31,583	36,435	43,695	51,593	50,535
	前年比	108.0%	131.4%	126.4%	130.8%	122.7%	113.3%	130.6%	115.4%	119.9%	118.1%	97.9%
	構成比	6.7%	8.8%	10.4%	13.0%	14.8%	13.3%	17.5%	20.2%	24.2%	27.8%	29.3%
フランス	量kl	55,119	52,589	49,982	48,703	47,160	50,455	60,046	56,689	52,991	51,521	45,711
	前年比	98.6%	95.4%	95.0%	97.4%	96.8%	107.0%	119.0%	94.4%	93.5%	97.2%	88.7%
	構成比	46.3%	44.2%	39.1%	36.5%	32.7%	27.9%	33.3%	31.5%	29.3%	27.8%	26.5%
イタリア	量kl	22,718	22,717	22,807	23,621	24,871	28,260	34,768	33,271	33,835	34,643	32,093
	前年比	89.4%	100.0%	100.4%	103.6%	105.3%	113.6%	123.0%	95.7%	101.7%	102.4%	92.6%
	構成比	19.1%	19.1%	17.8%	17.7%	17.2%	15.6%	19.3%	18.5%	18.7%	18.7%	18.6%
スペイン	量kl	7,182	8,237	8,811	12,301	13,687	15,814	24,656	23,403	21,005	20,216	19,403
	前年比	109.9%	114.7%	107.0%	139.6%	111.3%	115.5%	155.9%	94.9%	89.8%	96.2%	96.0%
	構成比	6.0%	6.9%	6.9%	9.2%	9.5%	8.7%	13.7%	13.0%	11.6%	10.9%	11.3%
オーストラリア	量kl	6,208	7,240	7,352	8,377	7,467	6,405	7,250	6,840	6,790	6,945	6,922
	前年比	123.3%	116.6%	101.5%	113.9%	89.1%	85.8%	113.2%	94.3%	99.3%	102.3%	99.7%
	構成比	5.2%	6.1%	5.8%	6.3%	5.2%	3.5%	4.0%	3.8%	3.8%	3.7%	4.0%
アメリカ合衆国	量kl	11,133	9,984	7,739	8,098	8,703	9,260	10,550	11,552	9,635	9,300	6,572
	前年比	91.6%	89.7%	77.5%	104.6%	107.5%	106.4%	113.9%	109.5%	83.4%	96.5%	70.7%
	構成比	9.4%	8.4%	6.1%	6.1%	6.0%	5.1%	5.9%	6.4%	5.3%	5.0%	3.8%
アルゼンチン	量kl	1,199	1,390	2,189	2,199	2,439	2,490	3,233	3,090	3,615	2,608	2,780
	前年比	170.8%	115.9%	157.5%	100.5%	110.9%	102.1%	129.8%	95.6%	117.0%	72.1%	106.6%
	構成比	1.0%	1.2%	1.7%	1.6%	1.7%	1.4%	1.8%	1.7%	2.0%	1.4%	1.6%
ドイツ	量kl	5,040	3,597	3,441	2,980	2,922	3,493	3,580	3,324	2,980	2,909	2,665
	前年比	74.9%	71.4%	95.7%	86.6%	98.1%	119.5%	102.5%	92.8%	89.7%	97.6%	91.6%
	構成比	4.2%	3.0%	2.7%	2.2%	2.0%	1.9%	2.0%	1.8%	1.6%	1.6%	1.5%
南アフリカ	量kl	1,047	1,213	1,492	2,207	2,721	1,620	2,423	2,256	2,723	2,349	1,951
	前年比	69.9%	115.9%	123.0%	147.9%	123.3%	59.5%	149.6%	93.1%	120.7%	86.3%	83.1%
	構成比	0.9%	1.0%	1.2%	1.7%	1.9%	0.9%	1.3%	1.3%	1.5%	1.3%	1.1%
ニュージーランド	量kl	478	503	563	541	743	783	1,118	1,117	1,150	1,212	1,186
	前年比	144.0%	105.2%	111.9%	96.1%	137.3%	105.4%	142.8%	99.9%	103.0%	105.4%	97.9%
	構成比	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.5%	0.4%	0.6%	0.6%	0.6%	0.7%	0.7%
ポルトガル	量kl	304	269	399	558	558	640	728	781	966	826	1,172
	前年比	76.8%	88.5%	148.3%	140.0%	99.9%	114.7%	113.8%	107.3%	123.7%	85.5%	141.9%
	構成比	0.3%	0.2%	0.3%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.5%	0.4%	0.7%
その他	量kl	758	787	719	696	757	960	1,190	1,408	1,490	1,501	1,403
	前年比	85.6%	103.8%	91.4%	96.8%	108.8%	126.8%	124.0%	118.3%	105.8%	100.7%	93.4%
	構成比	0.6%	0.7%	0.6%	0.5%	0.5%	0.5%	0.7%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%
合計	量kl	119,405	119,044	118,937	127,792	133,516	144,355	181,125	180,166	180,874	185,615	172,395
	前年比	96.9%	99.7%	99.9%	107.4%	104.5%	108.1%	125.5%	99.5%	100.4%	102.6%	92.9%
	構成比	100.3%	100.1%	93.1%	95.7%	92.5%	79.7%	100.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(注) 1. 財務省関税局調べによる「ぶどう酒(2L未満)」の数量推移
統計条件が異なるため、スパークリングワインの合計値と足し合わせた場合でも課税数量の合計とは差異が発生
2. 年度は暦年(2016年1～12月)

スパークリングワインの輸入数量推移 ①

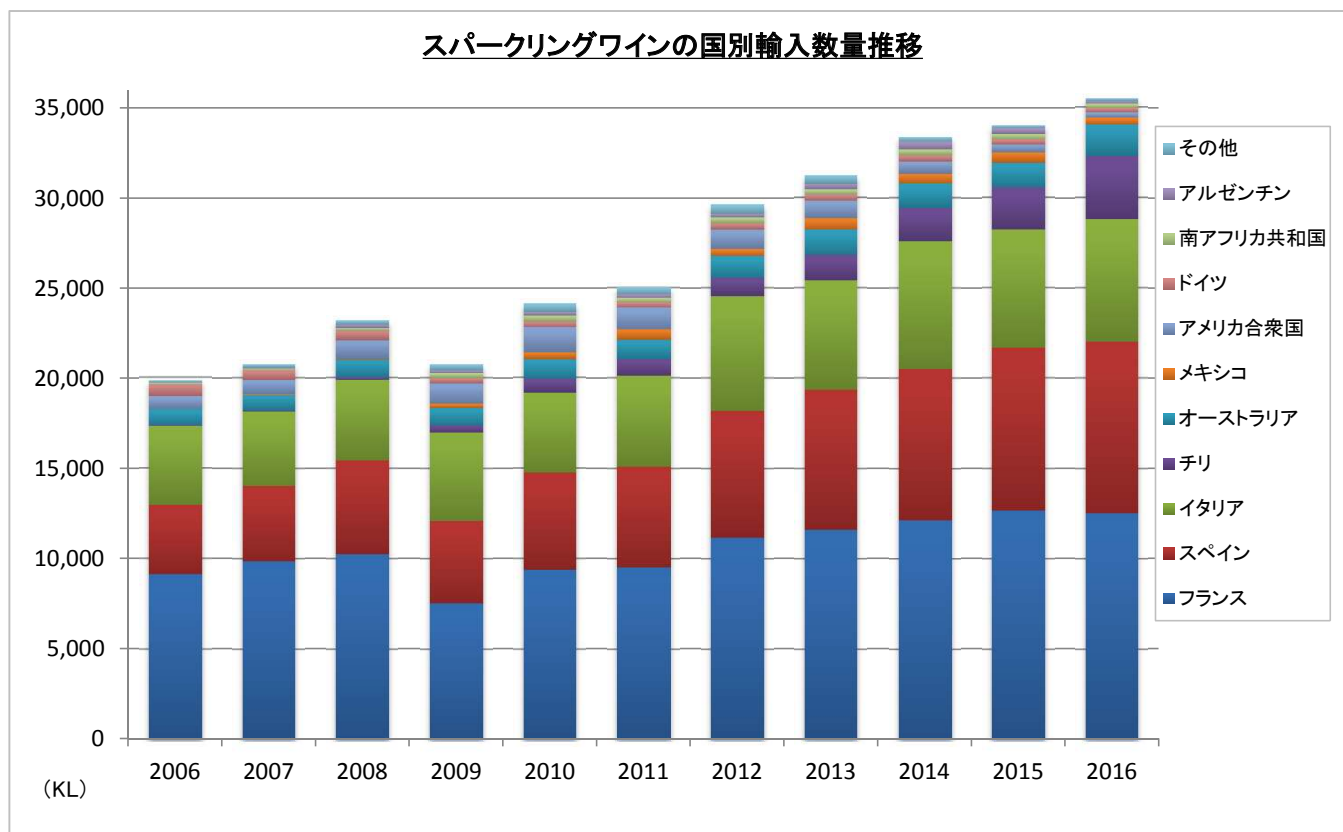
4-1. 国別輸入数量推移(2006年～2016年)

スパークリングワインの輸入量は、景気低迷の影響を受けた2009年頃、高価格帯が苦戦しました。

2010年以降は、主に家庭用市場向けに2000円以下のリーズナブルなスパークリングワインが好調に推移し、直近の傾向では高価格帯も堅調となっており、輸入数量は伸長しています。

2016年は全体で前年比104.4%となり、7年連続で伸長し続けています。10年前と比較して、約1.8倍に拡大しました。

カバを有するスペインも7年連続で伸長しています。また、チリが、前年比で151.8%と大きく伸長しています。



- (注) 1. 財務省関税局調べによる「スパークリングワイン(2L未満)」の数量推移
 統計条件が異なるため、スティルワインの合計値と足し合わせた場合でも課税数量の合計とは差異が発生
 2. 年度は暦年(2016年1月～12月)

スパークリングワインの輸入数量推移 ②

4-2. 国別輸入数量一覧 (2006年～2016年)

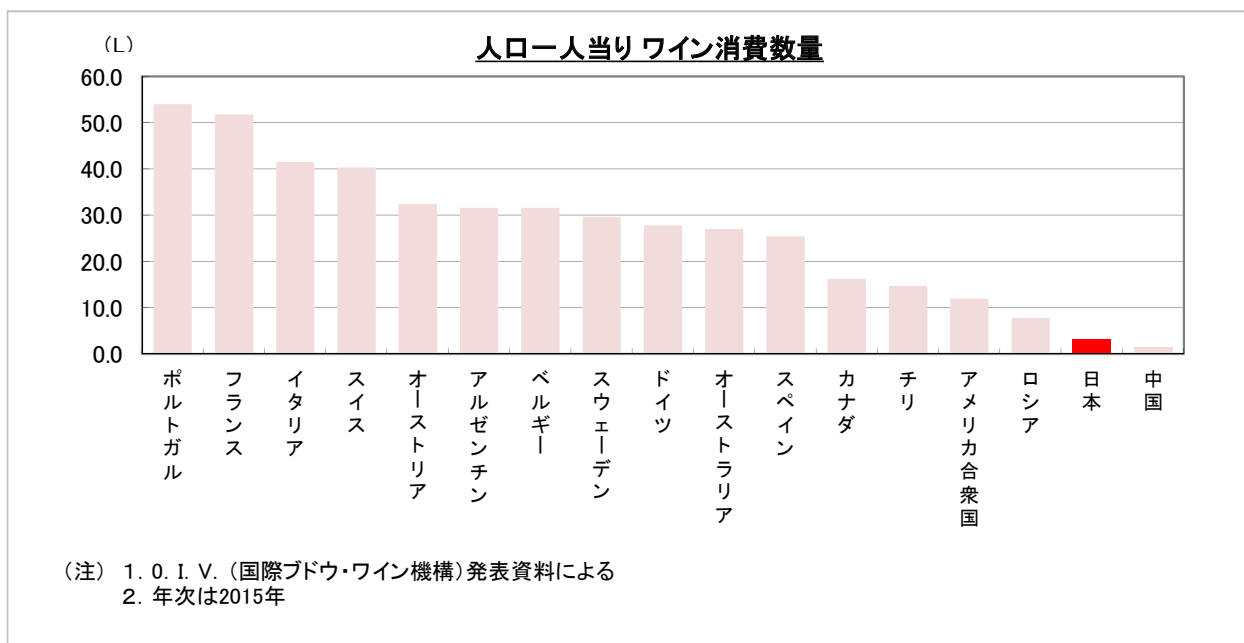
国名		2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
フランス	量kl	9,166	9,898	10,281	7,551	9,407	9,533	11,197	11,630	12,138	12,691	12,535
	前年比	149.7%	108.0%	103.9%	73.4%	124.6%	101.3%	117.5%	103.9%	104.4%	104.6%	98.8%
	構成比	44.3%	43.0%	50.1%	31.7%	37.9%	32.5%	38.2%	37.5%	36.3%	37.3%	35.3%
スペイン	量kl	3,823	4,130	5,189	4,579	5,379	5,604	7,025	7,759	8,406	8,996	9,526
	前年比	200.6%	108.0%	125.6%	88.2%	117.5%	104.2%	125.4%	110.4%	108.3%	107.0%	105.9%
	構成比	18.5%	17.9%	25.3%	19.2%	21.7%	19.1%	24.0%	25.0%	25.2%	26.4%	26.8%
イタリア	量kl	4,349	4,127	4,444	4,879	4,421	5,028	6,357	6,068	7,074	6,556	6,756
	前年比	112.4%	94.9%	107.7%	109.8%	90.6%	113.7%	126.4%	95.5%	116.6%	92.7%	103.0%
	構成比	21.0%	17.9%	21.7%	20.5%	17.8%	17.2%	21.7%	19.6%	21.2%	19.3%	19.0%
チリ	量kl	32	83	125	388	751	906	982	1,377	1,852	2,320	3,522
	前年比	60.4%	259.4%	150.6%	310.4%	193.6%	120.6%	108.4%	140.2%	134.5%	125.3%	151.8%
	構成比	0.2%	0.4%	0.6%	1.6%	3.0%	3.1%	3.3%	4.4%	5.5%	6.8%	9.9%
オーストラリア	量kl	911	853	1,006	973	1,082	1,085	1,212	1,392	1,336	1,381	1,717
	前年比	292.0%	93.6%	117.9%	96.7%	111.2%	100.3%	111.7%	114.9%	96.0%	103.4%	124.4%
	構成比	4.4%	3.7%	4.9%	4.1%	4.4%	3.7%	4.1%	4.5%	4.0%	4.1%	4.8%
メキシコ	量kl	0	37	44	216	397	544	406	631	553	579	372
	前年比	-	-	118.9%	490.9%	183.8%	137.0%	74.6%	155.4%	87.6%	104.7%	64.2%
	構成比	0.0%	0.2%	0.2%	0.9%	1.6%	1.9%	1.4%	2.0%	1.7%	1.7%	1.0%
アメリカ合衆国	量kl	712	794	1,020	1,142	1,359	1,218	1,083	995	690	420	302
	前年比	88.1%	111.5%	128.5%	112.0%	119.0%	89.6%	88.9%	91.9%	69.3%	60.9%	71.9%
	構成比	3.4%	3.4%	5.0%	4.8%	5.5%	4.2%	3.7%	3.2%	2.1%	1.2%	0.8%
ドイツ	量kl	639	523	514	295	324	285	328	330	320	281	243
	前年比	88.3%	81.8%	98.3%	57.4%	109.8%	88.0%	115.1%	100.6%	97.0%	87.8%	86.4%
	構成比	3.1%	2.3%	2.5%	1.2%	1.3%	1.0%	1.1%	1.1%	1.0%	0.8%	0.7%
南アフリカ	量kl	66	95	157	259	332	248	327	280	329	307	233
	前年比	9.1%	143.9%	165.3%	165.0%	128.2%	74.7%	131.9%	85.6%	117.5%	93.3%	75.9%
	構成比	0.3%	0.4%	0.8%	1.1%	1.3%	0.8%	1.1%	0.9%	1.0%	0.9%	0.7%
アルゼンチン	量kl	51	47	189	171	191	189	205	323	425	315	159
	前年比	96.2%	92.2%	402.1%	90.5%	111.7%	99.0%	108.5%	157.6%	131.6%	74.1%	50.6%
	構成比	0.2%	0.2%	0.9%	0.7%	0.8%	0.6%	0.7%	1.0%	1.3%	0.9%	0.4%
その他	量kl	111	205	230	332	483	414	522	470	279	178	161
	前年比	300.0%	184.7%	112.2%	144.3%	145.5%	85.7%	126.1%	90.0%	59.4%	63.8%	90.2%
	構成比	0.5%	0.9%	1.1%	1.4%	1.9%	1.4%	1.8%	1.5%	0.8%	0.5%	0.5%
合計	量kl	19,794	20,697	23,042	20,526	23,794	24,806	29,317	30,975	33,403	34,024	35,526
	前年比	142.6%	104.6%	111.3%	89.1%	115.9%	104.3%	118.2%	105.7%	107.8%	101.9%	104.4%
	構成比	95.6%	89.8%	112.3%	86.3%	95.9%	84.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

- (注) 1. 財務省関税局調べによる「スパークリングワイン」の数量推移
 統計条件が異なるため、スティルワインの合計値と足し合わせた場合でも課税数量の合計とは差異が発生
 2. 年度は暦年(2016年1月～12月)

主要ワイン消費国の人口一人当り年間ワイン消費量 (2015年)

●ワイン消費量拡大の可能性

日本人一人当たりの年間ワイン消費量を世界各国と比較するとその数値は依然として小さく、O.I.V.(国際ワイン・ブドウ機構)の統計では3.2Lとなっています。フランス、イタリアといったワイン伝統国は、減少傾向にはあるものの40L~50Lです。日本の消費数量は着実に伸長しており、ワインの日常化が今後進んでいくと予測されます。



国 別	ワイン一人当たりの消費数量(L)
ポルトガル	54.0
フランス	51.8
イタリア	41.5
スイス	40.3
オーストリア	32.4
アルゼンチン	31.6
ベルギー	31.6
スウェーデン	29.6
ドイツ	27.8
オーストラリア	27.0
ハンガリー	26.4
ギリシャ	25.7
スペイン	25.4
オランダ	24.5
ルーマニア	23.9
英国	23.9
カナダ	16.2
チリ	14.7
アメリカ合衆国	11.9
南アフリカ	11.0
ロシア	7.8
日本	3.2
ブラジル	2.0
中国	1.4

(注) 1. O. I. V. (国際ブドウ・ワイン機構)発表資料による
2. 年次は2015年

全酒類の消費量10年前との比較 (2005年と2015年の比較)

全酒類の消費数量は、近年、減少傾向にあります。特に清酒、ブランデーが顕著で、価格が手ごろな新ジャンルの台頭によりリキュールが大幅に増加しています。

2015年時点で酒類全体の中で大きな割合を占めるのは、ビールとリキュール(新ジャンル)で、この2カテゴリーだけで全体の50%を超える状況です。

●人口一人当たりの消費数量は、10年前の1.6倍に。ワイン(果実酒)は食中酒として定着

2015年の人口一人当たりの消費数量は、ワインボトルで約4本と10年前の1.6倍となり、他の酒類と比較すると少ないものの大幅に伸びています。ワインは2009年以降、毎年消費量が伸びており、外食の場面においてはホテル、レストランに限らずカジュアルな居酒屋などさまざまな業態において取り扱いが増える傾向にあります。

また、スーパーマーケットやコンビニエンスストアにおいても、ワインの品揃えは充実してきています。本格テーブルワインの幕開けから40数年、食環境の変化や多様化により日常の飲み物として定着するものと推測されます。

●国民一人あたりの飲酒量は以下のとおりです。

ビール	大びん(633ml)	約	33.8本	(10年前は)	約	42.8本
発泡酒	大びん(633ml)	約	9.5本	(約	21.1本
新ジャンル	大びん(633ml)	約	30.3本	(約	10.0本
ビール類計	大びん(633ml)	約	73.7本	(約	74.0本
焼酎	1.8Lびん	約	10.9本	(約	12.5本
清酒	1.8Lびん	約	2.5本	(約	3.2本
ワイン(果実酒)	750mlびん	約	4.0本	(約	2.5本
ウイスキー	750mlびん	約	1.5本	(約	0.1本

	2005年(KL)	構成比	人口1人あたり(L)	2015年(KL)	構成比	人口1人あたり(L)	10年前比較
清酒	719,311	8.0%	5.72	555,614	6.6%	4.46	77.2%
合成清酒	62,726	0.7%	0.50	32,689	0.4%	0.26	52.1%
焼酎甲類	496,573	5.5%	3.95	391,212	4.6%	3.14	78.8%
焼酎乙類	501,968	5.6%	3.99	466,969	5.5%	3.75	93.0%
みりん	107,380	1.2%	0.85	106,813	1.3%	0.86	99.5%
ビール	3,407,940	37.8%	27.11	2,665,915	31.5%	21.42	78.2%
果実酒	238,178	2.6%	1.89	370,337	4.4%	2.98	155.5%
甘味果実酒	8,589	0.1%	0.07	9,465	0.1%	0.08	110.2%
ウイスキー	83,320	0.9%	0.66	135,456	1.6%	1.09	162.6%
ブランデー	10,699	0.1%	0.09	6,672	0.1%	0.05	62.4%
発泡酒	1,679,181	18.6%	13.36	751,499	8.9%	6.04	44.8%
原料用アルコール・スピリッツ	62,350	0.7%	0.50	352,818	4.2%	2.83	565.9%
リキュール	735,898	8.2%	5.85	2,033,713	24.0%	16.34	276.4%
その他	898,259	10.0%	7.15	596,347	7.0%	4.79	66.4%
合計	9,012,408	100.0%	71.70	8,475,503	100.0%	68.10	94.0%

(注) 1. 国税庁発表資料による(沖縄県分は含まない)

2. 年度は会計年度(2005年=2005年4月~2006年3月、2015年=2015年4月~2016年3月)

3. 人口一人当りは住民基本台帳により算出(沖縄県分は含まない)

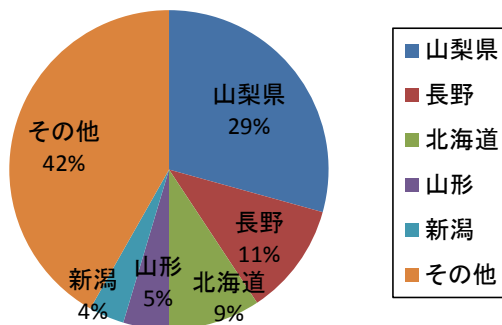
日本ワインの概況 (2015年)

日本ワインとは「国産ぶどうのみを原料とし、日本国内で製造された果実酒」をいいます。2015年10月、国が定める初めてのワインのラベル表示のルールとなる「果実酒等の製法品質表示基準」が定められました。表示基準の適用開始の日は2018年10月30日です。

表示基準が明確になることでブドウ産地(収穫地)や品種等の表示が可能となり、日本ワインのブランド力が高まると同時に海外展開への後押しとなることが期待されています。現在日本ワインは、国内製造ワイン(日本ワインを含む日本国内で製造された果実酒及び甘味果実酒)の製造数量全体のうち2割弱と少ないものの増加傾向にあります。

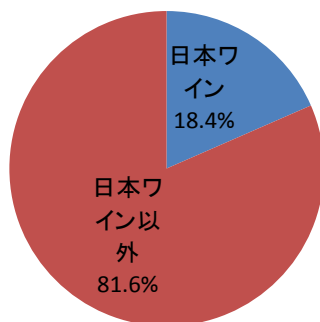
日本固有のブドウ品種について、2010年に「甲州」、2013年に「マスカット・ベリーA」が国際ブドウ・ワイン機構にワイン用ブドウとして登録されました。これにより、EUへ輸出するワインのラベルに品種名を記載できるようになりました。

■日本国内のワイナリー数(2015年)



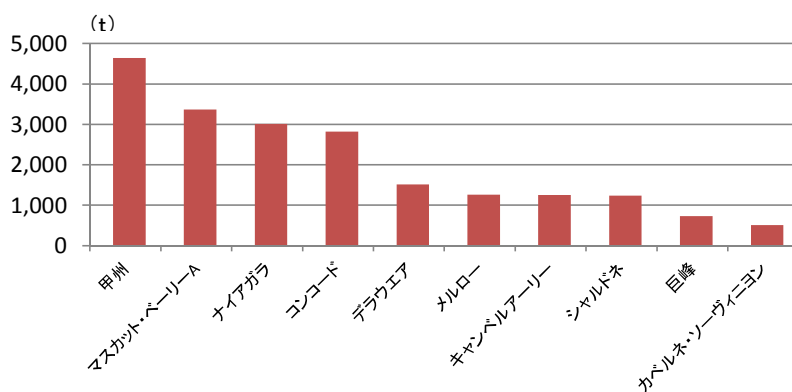
都道府県	ワイナリー数	構成比
山梨県	82	29%
長野	32	11%
北海道	26	9%
山形	13	5%
新潟	10	4%
その他	117	42%
合計	280	100%

■国内製造ワイン内の日本ワイン製造数量構成比(2015年)



	製造数量(KL)	構成比
日本ワイン	18,613	18.4%
日本ワイン以外	82,308	81.6%
国内製造ワイン合計	100,921	100.0%

■原料用ブドウ品種上位10種(2015年)



ブドウ品種	受入数量
甲州	4,649
マスカット・ベリーA	3,374
ナイアガラ	3,015
コンコード	2,824
デラウエア	1,517
メルロー	1,262
キャンベルアーリー	1,254
シャルドネ	1,243
巨峰	735
カベルネ・ソーヴィニヨン	508

※単位:t

(注) 国税庁 平成28年11月「国内製造ワインの概況(平成27年度調査分)」